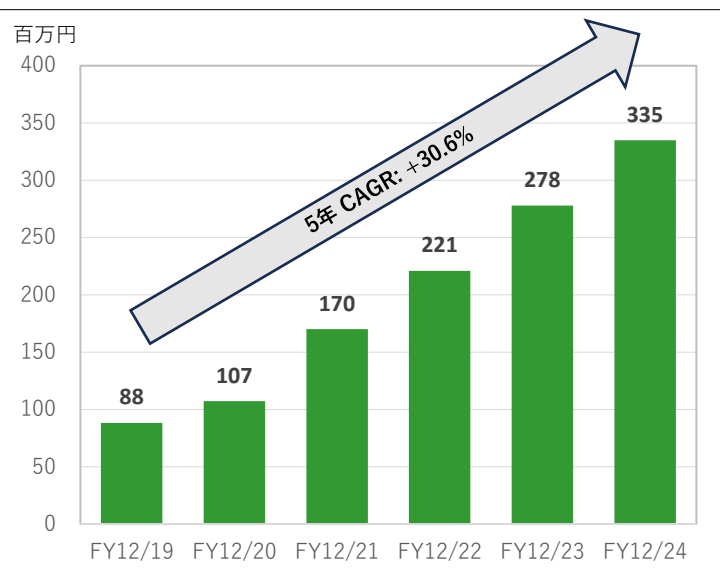


眼科手術補助剤「DW-1002」の中国における承認取得のお知らせ

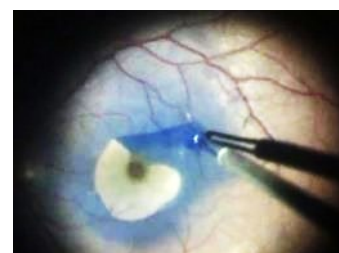
サマリー

- ※ DWTIは眼科手術補助剤「DW-1002」について、同社のサブライセンスアウト先のDutch Ophthalmic Research Center International B.V. (DORC) が、中国国家薬品监督管理局 (NMPA) より、硝子体手術時の内境界膜染色を適応症として承認取得した旨を発表した。
- ※ 本剤は既に欧州・米国を含む世界76の国と地域で販売されており、販売は順調に推移している。下のグラフは、DW-1002のDORCからDWTIへのロイヤリティ収入の年次推移を示したものである。中国では「ILM-Blue®」の製品名で販売開始される予定。
- ※ 本剤が中国で販売開始されると、DWTIはDORCからサブライセンス契約に基づく実施料を受け取ることになる。なお、販売開始時期は未定であるため、2025/12期業績予想の修正が必要な場合には、速やかに告知するとしている。
- ※ 現在の計画では、中国と日本では単剤、米国では配合剤を上市する予定である。主要国では2025年12月に特許満了し、米国特許はすでに2031年3月まで延長済である。2026年以降は特許満了の影響を受けてロイヤリティの減少が見込まれる。日本では、独占的ノウハウライセンス条項付き製品供給契約を締結しているため、影響はない。

DORCからのDW-1002ロイヤリティ収入



出所：同社決算短信よりSIR作成。



出所: Journal of Ophthalmology

News Flash



[DW-1002]

眼科手術補助剤:

BBG250 (Brilliant Blue G-250) という染色性の高い色素を主成分とする眼科手術補助剤で、眼内にある内境界膜又は水晶体を保護するカプセルを一時的に安全に染色し、硝子体・白内障の手術を行いやすくするものである。

日本以外の全世界における独占的なサブライセンスをDutch Ophthalmic Research Center International B.V. (DORC) に付与し、DORCは2010年9月以降、欧州等にて本製品を製造販売している。DW-1002 (ILM-Blue®, TissueBlue, MembraneBlue-Dual®) は、米国、欧州を含む76の国と地域で上市済。

クリス・シュライパー CFA アナリスト

research@sessapartners.co.jp



本レポートは株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレマーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp